

痛みがないまま、ひそかに進行する歯周病。つい受診を先送りにしてしまい、治療が手遅れになることも少なくない病気です。日本では大人の80%以上に歯周病の症状があるとされています。今回は、そんな「歯周病」について特集します。あなたのお口は大丈夫ですか・・・？



## 歯周病ってどんな病気で、どう進行するの？

★ 歯肉炎  
バイオフィルムにより歯肉が赤く腫れています。骨はまだ溶けていません。

★ 初期歯周炎  
見た目は歯肉炎と変わりませんが、腫れが大きくなり、骨が少しずつ溶け始めています。

★ 中等度歯周炎  
骨が溶け、歯が動き始めます。歯肉も赤く腫れ上がり、口臭・出血・不快感が出てきます。

★ 重度歯周炎  
歯肉が化膿して赤く腫れています。骨もかなり溶け、ぐらつきも大きくなり、歯を支えられなくなっています。

「歯周病」は細菌が引き起こす感染症です。歯茎の溝や歯石に隠れたプラークの細菌によって発症します。最初は歯茎だけが腫れます。そのまま放置すると歯を支える歯槽骨が溶けてしまい、歯茎の溝が深くなります。歯茎から血や膿が出たり、歯がグラグラして噛みにくくなり、口臭もひどくなります。

「歯肉炎」のうちに治療すれば健康な状態に戻すことができます。しかし進行すると自然に治ることはなく、溶けた骨は二度と元通りにはなりません。

歯槽骨が大きく失われると治療が手遅れになり、歯を抜かないといけなくなってしまいます。そうならないためにも、**早期発見・早期治療**が重要です！



## 歯周病治療を受診されるみなさんへ

### ★ 毎日の歯みがきをレベルアップしましょう

歯周病になってしまった原因は、長年にわたる歯みがき不足です。毎日きちんと磨いていても、十分にプラークが取り切れていないと歯周病は進行してしまいます。患者さまのお口に合った歯みがきの仕方をお教えしますので、この機会にぜひマスターしてみてください。

### ★ ぜひ禁煙をお願いします

喫煙習慣があると歯周病の進行が早くなり、治療の妨げにもなります。「歯を失うくらいなら…」と歯周病で苦労された患者さまは頑張って禁煙して下さいます。

### ★ 歯石を取ってもらったら血が出た…？

歯石を取る時に炎症を起こした歯茎から多少血が出るのは珍しくありません。歯石の周りの歯茎は炎症を起こしているため、少しの刺激でも血が出ます。

治療をしていくうちに出血はなくなりますので、ご安心下さい。



## 歯周病と全身の病気との関連

近年、歯周病と様々な全身の病気に深い関わりがあることが分かってきました。歯周病の細菌が口から血管に入り、全身に広がって悪さをするというものです。**糖尿病・心臓血管疾患・肺炎・早産**などとの関連が指摘されています。特に糖尿病と歯周病は相互に発症、進行に関わりがあるとされています。



つまり歯周病をそのままにしていると、その間ずっと**全身の健康を損なう危険**があるということになります。口の中に違和感がある、歯が浮くような感じがする、歯を磨くと血が出るといった症状のある方は、早めに受診されることをオススメします。